

平成27年度 4万3,319人の予算

平成27年4月1日下妻市常住人口

平成27年度一般会計予算169億8,000万円

特別会計、水道事業会計を含む総額は299億2,290万円



平成27年第1回下妻市議会定例会(3月議会)で、下妻市の平成27年度当初予算が決まりました。一般会計の予算額は169億8,000万円で、前年比8.2%の増。特別会計と水道事業会計を合わせた予算の総額は299億2,290万で前年比7.6%の増となっています。第1回下妻市議会定例会での市長施政方針と第5次下妻市基本計画に基づいた主な予算について紹介します。

満開の桜のもと、元気に遊ぶ子どもたち(多賀谷城跡公園:ソメイヨシノ)

区分	今年度予算額	前年度予算額	増減率(%)	
一般会計(1)	169億8,000万円	157億 円	8.2	
特別会計	国民健康保険	57億8,600万円	13.5	
	後期高齢者医療	3億6,800万円	0.3	
	介護保険	31億5,700万円	2.7	
	介護サービス事業	700万円	850万円	△17.6
	下水道事業	10億6,100万円	10億3,600万円	2.4
	砂沼サンビーチ	2億 100万円	2億3,300万円	△13.7
計(2)	114億5,000万円	105億8,850万円	8.1	
水道事業会計(3)	14億9,290万円	15億1,341万円	△1.4	
合計(1)+(2)+(3)	299億2,290万円	278億 191万円	7.6	

平成27年度 市長施政方針

市民が下妻市に誇りを持ち

「下妻市民です」と言えるまちづくり

下妻市長 稲葉 本治



私

が、下妻市の市政を担当させていたでかから5年が経過し、この間、市民の皆さまにはご理解ご協力を賜りながら、市政運営をさせていたでかしております。

企

業誘致につきましては、これまで「SMC株式会社」「三五関東株式会社」「株式会社オートウェイ」「三共貨物自動車株式会社」の4社が操業を開始し、さらに「岡部株式会社」「城山工業株式会社」の2社が操業を予定するなど、新たな活力が生まれてきているところであり、特に新規財源確保をはじめとして、雇用や定住化など、地域の経済波及効果が期待されており、また、今後も新規企業の立地が見込まれるため、新たな工業用地の確保にも努めているところでございます。

進し、若者たちが東京に移り住まずとも生活ができるまちづくりを展開してまいりたいと考えております。特に、砂沼周辺都市再生整備計画や、4月1日に健康基地としてリニューアルオープンした砂沼荘などを連携させ、意図しなくとも「自然と歩く、歩かされてしまう」健康都市としての方向性を確立し、健康課題をはじめとした多くの地域課題が解決できるよう努めてまいります。

くの市民の皆さまに親しまれ、さらにタイやシンガポール、マレーシアなどへの海外輸出は、内外から大きく注目されているところですが、これに留まることなく、下妻ならではの農産品のブランド化に努めてまいりたいと考えております。また、「道の駅しもつま」のリニューアルオープンを控え、地域交流の拠点や新たな観光資源としての利活用が期待されるほか、今年3月末には下妻市初の国登録文化財として、「江連用水田溝宮裏両樋」が登録されるなど、これまでの観光資源とともに、魅力ある観光ブランドの充実と観光産業の強化に努めてまいります。さらに、今秋には茨城県主催による「茨城を食べよう収穫祭2015」が、砂沼広域公園を会場に2日間

集客が予想されております。これらを、本市を内外にPRする絶好の機会と考え、県とともに取り組んでまいりたいと考えております。また、市民の皆さまが、より下妻に愛着を深められるよう、下妻イメージキャラクターのシモンちゃんを活用した「ご当地ナンバープレート」を今年8月の施行を目前に、本市のイメージアップの一翼を担う戦略として取り組んでまいります。

市

の整備、子育て・教育環境の充実、若者の交流人口・定住人口の促進に向けたシテイセールスなどを積極的に展開しているところでございます。

まちづくりにつきましては、市民の皆さまが生き活きと元気に暮らしていくため、「健康都市しもつま」づくりを着実に進め、併せて子どもを産み育てやすい環境づくりと、質の高い教育環境づくりを推

下妻ブランド化の推進につきましては、本市の相対的価値を向上させることは「交流人口」「定住人口」の促進につながり、市民の皆さまにとっても、愛着や誇りの原動力となります。これまで、本市には誇れる農産品が数多くあり、中でも下妻産ブランド梨の6次産業化による商品は多

市民の皆さまが、下妻市に誇りを持ち、「下妻市に住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思えるようなまちづくりを市民の皆さまとともに進め、本当の意味での「市民が創り上げていく郷土しもつま」を目指し、全力を傾注してまいります。

市民の皆さまが、下妻市に誇りを持ち、「下妻市に住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思えるようなまちづくりを市民の皆さまとともに進め、本当の意味での「市民が創り上げていく郷土しもつま」を目指し、全力を傾注してまいります。

(二部抜粋)